



新本っ子

学校通信 No. 15

令和4年6月発行

新本小学校

【学校教育目標：豊かな人間性をもち、実践力のある子どもを育成する】 令和4年6月20日

新 自分で考える子 **本** 本気で取り組む子 **義** きまりを守る子 **民** みんな仲良く元気な子

神田で赤米の田植え体験 ～5年生～

17日(金)、5年生は本庄国司神社の神田で、赤米の田植えを行いました。今年は3年ぶりに総社赤米大使の相川七瀬さんにもご参加いただき、子どもたちにとっても楽しみに迎えた当日となりました。晴天に恵まれた中、神社到着後の児童は神殿に手を合わせ、赤米の田植えを行うことを報告しました。神事、開会行事後、いよいよ田植え。



ご参加いただいた片岡聡一市長様にも植え方、間隔などのアドバイスをいただき、裸足で神田に入ります。直後、児童は感覚に驚きながらも、水田のぬるぬるする柔らかい感触を味わい楽しんでいました。

田植えでは横一列に並び、水田両端から引いたロープの赤い目印に沿い、苗を数本ずつ手に取り、ていねいに植えていきます。横一列の植え付けが完了すると、全員で後ろに下がって次の列。だんだん上手になり、植え付けも手際よくなっていきました。赤米保存会、地域の方に手ほどきを受けながらも、最後まで自力で植え付けることができました。



5年生は、地域で大切に伝承されている赤米の学習をしています。赤米は玄米の種皮に赤い色素を含んだ古代米。赤飯のもとになったものとされています。今では神様に捧げるお米（御神饌米（ごしんせんまい））とされ、伝承地域は新本地域も含め、種子島（鹿児島）、対馬（長門）と全国3地域しかありません。

伝承文化を学習する上で、多くの方に支えられ貴重な体験をすることができました。田植えのために事前の準備や当日運営など、たいへんお世話になった赤米保存



会、神社、市役所、地域の皆様、また、当日駆けつけ温かく見守りいただいた保護者の皆様、そして田植えにご参加いただいた総社市長、片岡聡一様、総社赤米大使、相川七瀬様に心から感謝申し上げます。温かいご支援のお陰で子どもたちにとって

も、心に残るよい思い出となりました。なお、5年生は11月に稲刈り、12月にとうす（もみすり）、とうみ（選別）の体験をする予定です。